

特例貸付「緊急小口資金」 記入説明書

緊急小口資金特例貸付借入申込書

令和4年4月1日以降

に使用する様式です

※書き損じた場合は、該当箇所に二重で取り消し線を引き、押印ください

申込みに当たり、下記9項目に同意し、生活福祉資金の借入れを申請いたします。

1. 記入した個人情報については、本制度に必要な範囲で第三者に提供することに同意します。
2. 貴社会福祉協議会が、貸付けに必要な範囲で、全国社会福祉協議会、他の都道府県社会福祉協議会、自治体等の関係機関に照会し、私の個人情報の提供を受けることに同意します。
3. 私は現在、生活保護を受給していません。
4. 私は現在、自己破産の手続きを行っていません。
5. 本貸付金を事業の運転資金として使用しません。
6. 私以外の世帯の者は、本特例貸付の借入を行っていません。
7. 私及び私の世帯の者は、暴力団員ではありません。また、借入期間中においても暴力団員にはなりません。
8. 私は、貴協議会が必要に応じ官公署から私又は私の世帯員に係る暴力団員該当性情報の提供を求めることに同意します。〔暴力団とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)第2条第2号にあるとおり、「その団体の構成員(その団体の構成団体の構成員を含む。)が集団的に又は常習的に暴力団員として活動することを目的とする団体」を指す。〕
必ず自筆の署名をお願いします。
9. 貸付審査の結果、貸付が認められない場合は、理由は開示されないことに同意します。

必ずお読みください

希望がない場合は償還期間「ア.24か月」
償還方法「月賦」を選択してください。

上記9項目に相違ありません

署名

〇〇 一郎

※太枠内をご記入ください。

記入年月日

令和〇年 〇月 〇日

20万円以内の金額を記入ください

この欄は担当職員が記入します。

申込金額	20 万円	据置期間	令和5年12月末まで	償還期間	ア.24か月 イ.その他()か月	償還方法	<input checked="" type="checkbox"/> 月賦 <input type="checkbox"/> 一括
借入申込者	氏名 〇〇 伊吹 〇〇 一郎	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	大正 昭和 平成 〇〇年 〇月 〇日 (満〇〇歳)	自宅電話	072-xxxx-xxxx
現住所	(〒123-4567) 堺市〇区〇〇町1-1-1	押印	印	勤務先名称 または職業	例: 飲食店経営、〇〇会社、無職	勤務先等住所	〇〇市★★●●-●● 電話 xxx(×××)xxxx

押し忘れに注意

借入申込者の世帯状況	氏名	続柄	年齢	現在、就業中の方は、いま働いている職場の情報を記入ください。 無職の方は「無職」と記入ください。	特記事項(感染症患者、要介護者、要介護者の世話、エ.感染の恐れある子の世話、オ.個人事業主)
1	本人	本人		大正=I、昭和=S、平成=H、令和=R	
2	〇〇 ハナコ 〇〇 花子	夫・妻 子・父・母・その他	37	T・S・H・R 年 月 日	主 婦 ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
3	〇〇 イチロウ 〇〇 一郎	夫・妻 子・父・母・その他			ア.罹患者等 イ.要介護者
4	〇〇 ジロウ 〇〇 二郎	夫・妻 子・父・母・その他			
その他	名				

借入申込者と同じ名義(カタカナ)の口座を記入してください。

※ネット銀行はご利用いただけません

■銀行名は最新の名称を記入して下さい。例:「三菱UFJ銀行」「関西みらい銀行」

■ゆうちょ銀行は「支店名」例:四〇八(漢数字)と「口座番号(7ケタ)」

※ゆうちょ通帳の「銀行使用欄」をご確認ください。

貸付金振込先	金融機関	〇〇銀行	支店名	〇〇支店	預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通・ <input type="checkbox"/> 当座
	口座番号	1234567	口座名義人(カタカナ)	〇〇 タロウ		

借入理由 ※感染拡大等による影響の内容を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減	<input checked="" type="checkbox"/> 今後10万円を超える資金需要があるため
---------------------------	---	---

本特例貸付の利用実績: ア.今回が初めての借入 イ.すでに借入したことがある(受付日: / 借用金額 万円)

外国籍の方で在留期間が1年以内の方: 在留期間が延長の予定

在留期間が1年以内の方で、在留期間延長の予定がある場合は、ここに☑を記入ください

借入申込書でお申込みの金額を記入ください。

緊急小口資金特例貸付

借用書

【記入例】

※ 申込者が未成年の場合、法定代理人の同意が必要になるため別様式になります。

借 用 金 額	20	万円
---------	----	----

緊急小口資金特例貸付の貸付金として上記金額を借用いたしました。

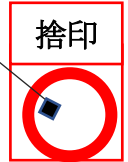
ついては、本借用書および重要事項説明書記載の厳守事項を固く守り、貴会の指示に従って、下記の条件により相違なく償還いたします。

令和	年	この欄は担当職員が記入します。社協記入欄
----	---	----------------------

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
(借受人)

押印、捨印ともに同じ印を押してください。

住 所	堺市〇区〇〇町1-1-1
氏 名 (自 署)	〇〇 太郎
生年月日	大正 〇〇年 〇月 〇日生 昭和 平成



[借入要項]

1 貸付金の 受領方法	借受人が指定する金融機関口座への振込による。	
2 貸付金の償還	据置期間	令和5年12月末まで
	償還期間	<input checked="" type="checkbox"/> 24か月 <input type="checkbox"/> その他 _____ か月 (最大24か月)
	償還方法	<input checked="" type="checkbox"/> 月賦償還 <input type="checkbox"/> 一括償還
3 延滞利子	上記償還期間の最終日までに償還金を償還しなかったときは、償還期間経過後の残元金に対し、年利3.0%の延滞利子を徴収します。	

【留意事項】

借入申込書でお申し込みの期間、償還方法を記入ください。

- ①上記の太枠線は申込者本人が記入してください。
- ②据置期間は、送金日が属する月の翌月から開始となります。
- ③償還期間は、据置期間終了月の翌月から開始となります。
- ④繰上償還は、各都道府県社会福祉協議会が指定する金融機関口座となります。

地 区	年 度	資 金	貸付コード	受付番号	
			この欄は担当職員が記入します。		市区町村社協

裏面にも署名・押印ください

生活福祉資金に関する告知事項

(貸付金の交付について)

- 1 当協議会は、貸付決定し、借入申込人から署名捺印した借用書の提出があったときは、貸付決定に係る資金（貸付金）を借受人の指定する金融機関口座に送金により借受人本人に交付いたします。

(管理システムへの登録と信用情報の回答について)

- 2 借受人が県外に転出した場合、全国社会福祉協議会の管理システムに県外転出者として生活福祉資金の貸付に関する情報を登録します。
また、他の都道府県社会福祉協議会から生活福祉資金に関する信用情報の照会があった場合は、償還残額等、必要な情報に関し、信用情報を提供します。

(民生委員への通知について)

- 3 借入申込みの結果について、申込人の居住する地域において相談援助活動を行っている民生委員に通知することがあります。

(延滞利子について)

- 4 償還計画に定められた償還期限日までに償還金を支払わなかったときは、償還期限後の残元金に対し、年利 3.0%の率をもって延滞利子を徴収します。

(督促について)

- 5 最終償還期限日を経過して全額償還がされない場合は、当協議会又は市区町村社会福祉協議会が、借受人に対して督促を行います。
また、滞納が継続するときは、当協議会又は市区町村社会福祉協議会が、家計の状況等について、聞き取りや面接調査を行う場合があります。

(救済制度について)

- 6 借受人の申請により、当協議会会長が天災その他やむを得ない事情で支払いができないと認めるときには、償還金の支払いを一時猶予したり、免除することがあります。

(合意裁判所について)

- 7 借受人と当協議会の間で、訴訟の必要が生じた場合には、当協議会の所在地を管轄する裁判所を合意裁判所とします。

借受期間中の厳守事項

この制度は、「資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を営ましめること」を目的としており、借受人は次の事項（生活福祉資金貸付制度要綱、要領等で規定される事項等）を厳守しなければならない。

- 1 貸付決定後に送付する償還計画に従い、所定の支払期日までに定められた償還金を納めなければならない。
- 2 借受人に次の事項が生じたときは、直ちに届出ること。
- (1) 住所を変更したとき。
 - (2) 改名・改姓したとき。
 - (3) 死亡、または所在不明になったとき。
 - (4) 天災、火災その他重大な災害を受けたとき。
- 3 借受人が次の事項の一つに該当する場合には、貸付金の全部又は一部の返還を求めるか、貸付金の交付を取り消す場合がある。
- (1) 他の借入金返済への充当等貸付金の用途をみだりに変更したり、他に流用した場合。
 - (2) 虚偽の申請、不正な手段により貸付を受けた場合
 - (3) 故意に償還金の支払いを怠った場合
 - (4) 貸付けの目的を達成する見込みがない場合

重要事項説明書をお読みの上で、必ず、自筆・押印をお願いします。

上記の事項について、全ての内容を了承しました。

令和 4 年 ● 月 ● ● 日

借受人 住所 堺市○区○○町 1-1-1

氏名 ○○ 太郎

印

【記入例】

収入の減少状況に関する申立書

大阪府社会福祉協議会 会長 殿

私が申込みをしました生活福祉資金の貸付金について、貸付の要件である新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少状況については、以下のとおりであることを申告いたします。

実際に減収となった勤務先の名称や、住所・電話番号を記入ください。

勤務先名称または職業	例：飲食店経営、〇〇株式会社
勤務先所在地	〒123-4567 〇〇市★★●●-●● TEL ●●● (●●●) ●●●●
減少前の収入⇒	令和〇年〇月時の月額所得（手取り）は、約25万円でした。
減少後の収入⇒	令和〇年〇月時の月額所得（手取り）は、約0万円でした。
減少の理由	新型コロナウイルスの影響で、会社の業績が悪化し、解雇となった

減少前の収入には、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける前の収入を、減少後の収入には影響を受けた後の収入をご記入ください。減少の理由には、分かる範囲での減少の理由をご記入ください。

令和4年 ●月 ●●日

(借入申込者) 住所 堺市〇区〇〇町1-1-1

住所、氏名について
自筆のうえ、押印ください。

氏名 〇〇 太郎

(印)